



ずっと大切な場所

5校が1つに 新「吉田小学校」がスタート

厚生労働省によると令和5年の全国の出生数は72万7277人で過去最少かつ8年連続で低下しています。本市でも近年、少子化による児童生徒数の減少に歯止めがかからず、学校の小規模化が進んでいます。

そのような状況を踏まえ、市教育委員会では、子どもたちにとってより良い教育環境を確保するため「宇和島市立小中学校適正規模・適正配置等に関する基本方針」を定めて、保護者や地域の人たちと協議を重ねながら学校の統廃合を行っています。

そんな中、吉田地区でも小学校統廃合準備協議会を設立し、統合に向けて協議を重ねてきました。校名、校章、校歌、通学方法など新たな学校づくりに向けたさまざまなことを話し合い、4月から5つの小学校が統合した新たな「吉田小学校」がスタートすることとなりました。

吉田地区のそれぞれの小学校は、地域の大切な場所として愛されてきました。今回は、3月で閉校になる5校の思い出の紹介と、各校に関わりのある人たちのインタビューを通じて、小学校統廃合への思いを特集します。

ありがとう 吉田小学校

地域を愛し、はつらつと生き、
何事にも全力で挑戦してきました



①防災参観日に親子で学習した心肺蘇生法。②閉校後は使わなくなるプールでの水泳参観日。③④卒業生や地域の人と一緒にプール棟の壁面などをキャンパスにした思い出を描こうフェスティバル。

interview 01

各校の思いを
引き継いでいく



吉田小学校
校長 坂本 新一郎 さん

私は玉津小学校出身で、通っていた頃に木造校舎から今の校舎に建て替わり、わくわくしていたのを覚えています。卒業後、教師として吉田に来て、奥南小学校で教頭、立間小学校で校長を務め、令和5年度から吉田小学校に赴任しています。

令和4年度に、私を含めた5校の校長で新しい学校の校訓について話し合いました。新しい学校名は「吉田小学校」ですが、今回の統廃合は吉田小学校に他の4校が統合されるのではなく、5校が対等に新しい一つの学校になるものです。それを念頭に置いて、それぞれの校訓をできる限り活かし、各学校が築いてきた歴史を残すことを大切にしました。また児童に



目指してほしい姿などを思いながら、子どもでも分かりやすく行動に移せるものを考えました。話し合いの中で意見の多かったフレーズを組み合わせた「正しくなくよく元氣よく」が新しい校訓に決定されました。

4月から環境が変わることに対し不安な子どもたちもいると思います。そうした不安を少しでも解消できるように、昨年から5校による合同遠足や新校舎での交流会を開催してきました。

子どもたちだけでなく地域の人も、思い出の詰まった学び舎が無くなってしまふことに対し、それぞれの思いがあると思います。各学校の良さや培ってきた伝統を新しい吉田小学校に引き継いでいけるように協議していきたいです。

ありがとう



奥南小学校

心豊かにたくましく生きる
奥南っ子を目指してきました



①②地域の人たちと料理し校庭で楽しく食事をした青空クッキング。③仲間と団結し走り抜けた最後の運動会。④閉校記念にみんなで作った「つなぐ」の人文字。

interview 02

みんなで一緒に
進んでいきたい



吉田地区小学校統合準備協議会
委員 奥谷 篤巳 さん

奥南小学校出身で、自分の子どもたちも奥南小学校に通っている。4月からは奥浦の湾に響いていた運動会の練習の音などが聞こえなくなると思うと、寂しいところもあります。

吉田地区小学校統合準備協議会の委員として新「吉田小学校」の校歌の制作に関わってきました。校歌の制作にあたり、まず子どもたちから歌詞に入れてほしいフレーズを募集した後、それを曲にしてくれる人を探しました。吉田地区は昔からバンドなど音楽活動が盛んです。私も音楽が好きでドラムをしていて、地元出身のミュージシャンたちとのつながりがあったので、4人の吉田出身音

楽関係者に校歌を作ってもらいました。それぞれの地元への思いが詰まった4曲の中から、協議会で好評を得た1曲が新「吉田小学校」の校歌に決まりました。
この校歌には「進め」という歌詞が繰り返し使われているのが好きです。新しい環境になっても学校や地域が一緒になって未来に向かい進んでいけたらと思います。

吉田小学校校歌

作詞・作曲
加賀山 光造

かんの花が 春の神道
若木のように 伸びるよ強く
やさしい心で
手をとりあって 支えあい
進め吉小 元氣よく

きらきら光る 音い守和の海
希望に満ちて あしたに輝け
楽しい仲間と
励ましあって 学び合い
進め吉小 たくましく

昔も今も 続く同じ道
つないだ想い 未来へ羽ばたけ
音い空のよう
夢は大きく 美しく
進め吉小 どこまでも

▶新「吉田小学校」の校歌

ありがとう 喜佐方小学校

「よっしゃー！喜佐方」の合言葉で
地域と一緒に歩み続けてきました



①閉校記念の黒板アート制作に向けた練習。②最後の運動会で心を一つに披露したソーラン節。③東蓮寺ダムを見下ろすところまで登った閉校記念遠足。④喜佐方グリーンのTシャツで記念撮影。

interview 03

これからみんなが
集まる場所に



喜佐方公民館
館長 水谷 重孝 さん

喜佐方小学校に通っていた頃、すぐ近くに住んでいたのを忘れ物をこっそり取りに帰っていたのを覚えています。そんな思い出の詰まった学び舎から子どもたちの声が聞こえてこなくなるのは寂しいです。

喜佐方小学校が地域を盛り上げてきたものの一つに太鼓があります。その歴史は、吉田藩で時報として鳴らしていた太鼓を修復し演奏しようと、昭和48年に私たちが「御陣屋太鼓」という団体を結成したことから始まります。その後、地域の文化や太鼓の楽しさを伝えることを目的に、喜佐方小学校の子どもたちに太鼓の演奏指導を始めました。そこから子どもたちによる太鼓団体「吉田御陣屋遠

見太鼓」が結成され、祭りなどで演奏を披露してきました。遠見太鼓の熱い演奏を聴いた他の子どもたちが「楽しそう。自分もやってみたい」と目を輝かせていたのが心に残っています。そうやって子どもたちが楽しみながら演奏できるように地域や学校の先生たちで指導してきましたが、指導できる人がだんだんと少なくなってきました。さらに閉校になることで、子どもたちの元気な太鼓の音が聞こえなくなるのではないかと心配しています。新しい学校が始まっても、みんなで吉田御陣屋遠見太鼓を残していきたいと思っています。

閉校後の喜佐方小学校には喜佐方公民館が移転します。たくさん思い出が詰まった校舎なので、これからも子どもたちや地域の皆さんが集まる場所にしていきます。



感謝の気持ちと笑顔を
大切にしてきました



①地域のみんなが持ち寄ったミカンの絞り立てジュースを楽しんだ閉校記念行事。②みんなでバルーンを飛ばした最後の運動会。③④子どもたちがしたいことを企画し思い切り楽しんだ海遊び。

interview 05

地域の産業と
一緒に歩む



玉津果樹同志会
会長 牧野 雄一 さん

玉津地区はかんきつ農家が多く、玉津小学校児童の保護者のほとんどが玉津果樹同志会に入っています。会員である保護者が、昔から校庭などの環境整備を行ってきました。校舎の前には、子どもたちがポンカンなどのかんきつを栽培している「えがお農園」があります。かんきつのプロである私たちがその手入れの手伝いをしながら、子どもたちに地元の産業のことを伝えてきました。

私が玉津小学校に通っていた頃の一番の思い出は、ミカン山に登る校内マラソン大会です。坂を登るのはとてもきつかったです。ミカン山と法花津湾が広がる上からの景色は、疲れが吹き飛ぶくらい輝いてきれいだったのを覚えて



います。またかんきつの産地ということもあり、支援が必要な人に物資を送る「歳末たすけあい運動」のために学校にたくさんのミカンが集まっていたのも懐かしいです。

思い入れのある母校が無くなってしまうのとても残念ですが、少子化が進む中では仕方ないと思います。新しい学校は今より人数が増えるので、たくさんの方の友達が作り、つながりを広げてもらえたらうれしいです。

これからもずっと大好きな小学校

3月に奥南小学校を卒業する清家 琴羽 さんに閉校になる小学校や地域への思いを聞きました。

思い出が
詰まった学校を
これからも守りたい



奥南小学校
6年 清家 琴羽 さん

奥南小学校での思い出は小学校最後の運動会のリレーです。一緒に頑張ってきた仲間とバトンをつないで最後まで走り切ったことが心に残っています。他にも青空クッキングといて、全校児童と地域の人たちで植えて収穫したサツマイモを、みんなで料理し校庭の青空の下で食べたのがとても楽しかったです。

奥南小学校最後の年に卒業することができて良かったと思います。思い出がたくさん詰まった学校が無くなると思うと、帰る場所を失ったような気分になります。6年間お世話になった学校をこれからも守っていききたいので、卒業

した後も時々みんなが集まり、掃除や草引きなどできることをしていききたいと思います。

2月に行われた最後の学習発表会では、授業で調べたことを基に奥南の魅力や歴史を伝える劇を披露しました。奥南は、かんきつや漁業などの産業が営まれてきた自然豊かな場所です。地域の人も明るく大きな声で私たちにあいさつをしてくれ、いつも優しく温かく見守ってくれました。いつまでも魅力と笑顔溢れる地域であってほしいと思うし、これからも誇りにしていききたいです。



閉校記念式典を開催します

3月末に閉校となる各小学校の歴史と伝統を振り返り、別れを惜しむとともにその歩みを後世に残していくため、閉校記念碑除幕式や各地区での閉校記念行事が行われます。どなたでも参加できます。

3月22日(土)

- ▷奥南小学校 午前8時30分～
- ▷立間小学校 午前9時45分～
- ▷玉津小学校 午前11時～

3月23日(日)

- ▷吉田小学校 午前8時30分～
- ▷喜佐方小学校 午前10時30分～
- ▷結出小学校 午後2時～



※状況によって入場を制限する場合があります。

問 教育総務課総務係 ☎49-7030

新たな 大切な場所を 目指して



新「吉田小学校」の校舎

新「吉田小学校」の校章



吉田地区の児童生徒からデザイン案を募集し、その中から優れたものを基に3つのデザインが作成され、統合準備協議会で意見の多かったものが校章に決定されました。中央にある花は、ミカンの花と統合する5つの小学校、中央のYは吉田のY、その周囲は真珠、上部の葉は吉田の豊かな自然、下部の羽のようなデザインは未来への翼、下部中央は吉田の青い海をモチーフにしています。

子どもたちのより良い教育環境のためには、行政・学校・地域・保護者が連携していくことが大切です。またやむなく閉校になった場合、思い出が残る校舎をどのように活用していくかも、みんなで考えていくべき重要な課題です。

吉田地区の他にも、結出小学校が児童の減少により3月で閉校となり、遊子小学校と統合して新しいスタートを切ります。子どもたちは、地域と学校が一つになり築いてきた誇りや伝統、思い出を胸に新しい学校生活を始めます。新しい学校はもちろん、これまで通ってきた学校も、子どもたちと地域の希望や笑顔がまじわう「新たな大切な場所」になるように、宇和島の未来をみんなで創り上げていきたいと思います。